

Global Young Scientist Summit 2025(GYSS2025)現地参加者募集

- 1.開催趣旨：** GYSS はノーベル賞受賞者等の著名な研究者を招き、世界各国の学部生、大学院生、博士研究員等との国境、研究分野を越えた交流機会を提供することを目的に、シンガポール首相府国立研究財団（NRF）が2013年から毎年開催している学際的なサミットです。
（サミットのウェブサイト：<https://www.nrf.gov.sg/flagship-events/gyss/>）

参加者はシンガポールで開催されるプレナリーセミナー、パネルディスカッション聴講、小規模グループディスカッション等への参加を通じてネットワークの構築ができます。また、自身の研究発表（口頭もしくはポスター）、シンガポール国内の高等教育機関/研究機関への訪問の機会もございます。

- 2.主催：** シンガポール首相府国立研究財団(National Research Foundation: NRF)
3.開催日程： 2025年1月6日（月）-10日（金）
4.開催場所： シンガポール国立大学 University Town
5.開催形態： 現地参加
6.使用言語： 英語
7.過去の講演者：

S/N	Speaker	Award/ Achievement
1	Prof Aaron Ciechanover	Nobel Prize in Chemistry (2004)
2	Prof Ada Yonath	Nobel Prize in Chemistry (2009)
3	Prof Alessio Figalli	Fields Medal (2018)
4	Sir Andre Geim	Nobel Prize in Physics (2010)
5	Prof Benjamin List	Nobel Prize in Chemistry (2021)
6	Prof Barry Marshall	Nobel Prize in Physiology/Medicine (2005)
7	Prof Cédric Villani	Fields Medal (2010)
8	Prof Didier Queloz	Nobel Prize in Physics (2019)
9	Prof Jayant Baliga	IEEE Medal of Honor (2014)
10	Sir Konstantin Novoselov	Nobel Prize in Physics (2010)
11	Prof Leslie Valiant	Turing Award (2010)
12	Prof Michael Young	Nobel Prize in Physiology/Medicine (2017)
13	Prof Ngô Bảo Châu	Fields Medal (2010)
14	Prof Robert Langer	Millennium Technology Prize (2008)
15	Prof Stanley Whittingham	Nobel Prize in Chemistry (2019)
16	Prof Stefan Hell	Nobel Prize in Chemistry (2014)
17	Prof Stuart Parkin	Millennium Technology Prize (2014)
18	Prof Takaaki Kajita	Nobel Prize in Physics (2015)
19	Prof Thomas Cech	Nobel Prize in Chemistry (1989)
20	Prof Thomas Südhof	Nobel Prize in Physiology/Medicine (2013)
21	Dr Venki Ramakrishnan	Nobel Prize in Chemistry (2009)

8.募集人数： 現地プログラム参加者 15 名（JST 推薦枠）

- * 理化学研究所は別途推薦枠をお持ちですので、理研所属の方は所内募集にご応募ください。
- * 東京都市大学、神奈川工科大学、東京大学、分子科学研究所、慶応義塾大学、京都大学、九州大学、東京都立大学、早稲田大学は別途推薦枠をお持ちです。ご自分の所属機関と JST への二重の応募はご遠慮ください。
- * 推薦に当たってはジェンダーバランスを考慮します。
- * JST から支援を受けているプロジェクトからの推薦は、1 研究室 1 名としてください。

9.募集対象： 35 歳以下（会期時の年齢）の以下要件を満たす学部生、大学院生、博士研究員（博士号取得後 5 年以内）等

- ・ 研究に強い関心と熱意を有する
 - ・ スピーカーとの積極的な議論や交流が可能な英語力を有する
 - ・ 専門分野において優秀である、あるいは顕著な成果をあげている
 - ・ GYSS への参加経験なし（但し全面オンラインで開催された 2021 年と 2022 年を除く）
 - ・ Permanent position を有していない
- * ノーベル賞受賞者等の著名な研究者を招き、学部生、大学院生、博士研究員等との研究分野を越えた交流機会を与えることが目的のサミットです。参加者はシンガポールで開催されるプレナリーセミナー・パネルディスカッション聴講、小規模グループディスカッション等への参加を通じてネットワークの構築ができます。

10.自己費用負担： 現地参加者の場合、日本国内移動費、日本とシンガポール間の渡航費、シンガポールでの空港からホテルまでの交通費、および雑費等。

- * CREST・さきがけ・ACT-X による研究成果発表を行う場合は、国内移動費及び渡航費をプロジェクト経費から支出することが可能です。
 - * BOOST 選抜生/SPRING 選抜生/フェローシップ創設事業選抜生について JST からの支給はございません。研究成果の発表を行う等、これら事業での研究活動に資する場合には研究費等より支出することが可能です。
- * シンガポールでのホテル代（会期前日から会期最終日まで、2 名 1 部屋となります）、及びホテルからサミット会場への移動はサミット主催者が負担します。食事は出るものと出ないものがあります。

10.プログラム： プレナリーセミナー聴講、パネルディスカッション参加、小規模グループディスカッションへの参加、ネットワーキングセッション参加

【2024 プログラム（参考）】<https://gyss.nrf.gov.sg/images/GYSS%202024/Programme.png>

【2024 ハイライト（参考）】<https://gyss.nrf.gov.sg/highlights/gyss2024/>

11.申請〆切： 8 月 2 日（金）日本時間正午

（JST 内推薦枠採択通知は 8 月 16 日（金）までに JST 国際部シンガポール事務所よりメールでご連絡します。NRF からの採択を保証するものではありません。推薦を受けた者は 9 月中の、NRF が定めた期限までにご自分の関するより詳細な情報と CV を NRF に提出する必要が

あります。最終採択については NRF より連絡がある予定です。）

12.申請方法： 参加希望者に関する以下の情報を【日・英併記の指示に従い】、〆切までに申請先（JST シンガポール事務所）へメールでご連絡ください。

(1)【日本語のみ】

①CREST・さがけ・ACT-X 関係者の場合→申請者所属研究領域・研究課題名（例：CREST「植物頑健性」領域・フィールド環境での栄養応答ネットワークによる生長制御モデルのプロトタイプ構築）及び課題終了年月（○年○月）

②BOOST/SPRING/フェロースhip創設事業関係者の場合→BOOST/SPRING/フェロースhip創設事業での支援予定期間（○年○月～○年○月）

(2)【英語のみ】呼称（Mr, Ms, Mrs, Dr, Prof）

(3)【日英語併記】名前（first name, family name）

(4)メールアドレス

(5)【日英語併記】所属機関名（Host Institution）

(6)【日英語併記】役職（Job title）*学生の場合は「博士後期課程 X 年」等と記載

(7)年齢 *令和 7 年 1 月 6 日時点で 35 才以下であること

(8)性別

13.その他：

GYSS 参加者同士の簡単な顔合わせを行う可能性があります。その際は是非ご参加ください。GYSS 参加後、JST よりアンケートをお送りする場合があります。その際はご回答にご協力頂きますようお願いいたします。

14.問合せ・申請先：

JST 国際部シンガポール事務所 金子、馮 singapore@jst.go.jp

以上